



市保連 だより

2010
(12月)

[第403号]

平成22年12月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 重岡 啓一
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 鬼塚 静波
委員 建川 美逸
委員 建村 上川 恵徳
委員 平川 裕季子
委員 伊形 けい子
委員 石井 福栄
委員 石角 奈二郎



理事会

「雑草の森」の必要性

立田山野外保育センター雑草の森 運営委員長 本 田 一 幸

さわやかに天高く馬肥ゆる秋空の中、去る10月17日に第19回わんぱくまつりが旭保育園の園児によるマーチング演奏で開幕し、約2,600名の親子が立田山の自然の中で元気いっぱい楽しいひとときを過ごしました。

わんぱくまつりは平成元年から始まり、当初は熊本市と本連盟が共催し都市緑化植物園（熊本市動植物園）で、子ども・親・地域の人々が集い、楽しいひとときを過ごし、人と人とのふれあいや伝承遊びの広がり場として行われてきました。途中3年中断していましたが、平成14年に児童厚生施設 児童遊園として「立田山野外保育センター雑草の森」の開設に伴い、再び開催されるようになりました。「雑草の森」開設以来の来場者数も去年のわんぱくまつりの日に10万人を迎え9月末現在113,347人と多くの皆様方に利用されています。

この「雑草の森」は、熊本市保育園連盟の前身、社団法人熊本市保育園協会において「幼児の里」構想が持ち上がり、保育園の子どもたちがのびのびとしかも安全に遊べる施設を造りたいという願いで熊本市から市有地を無償で借用させていただき、市の補助金や市保連の各園の拠出金等により建設されました。乳幼児対象に向けた構造で宿泊が出来る建物としては全国でも数少なく、既に先駆的に取り組んでいた京都市八瀬の野外保育センター等を参考にして、子どもたちが、自然の中で生き物や動物とふれあう野外活動によって自主性、協調性、創造性を養い情操豊かに育つことを目的に造られています。

私も開設当初から運営委員として携わってききましたが、施設の管理運営にあたっては予算と人力

が必要で、連盟会員の協力が不可欠であります。約2,900坪の敷地には沢山の雑草が生え木々も伸びてきます。この除去作業には男性運営委員はもちろん毎年ブロックごとに



各保育園の先生方のお手伝いをお願いしています。また台風災害時には、風倒木の撤去に青年部の皆さんに応援をお願いしたこともありました。雑草の森運営において青年部の人力は必需なもので大いに期待をしているところです。

熊本市保育園連盟は公益法人改革において平成25年11月30日までに非営利型の一般社団法人への移行準備を進めているところであり、公益目的支出計画により公益目的財産の使途においては公益性の高い事業を行わなければなりません、営利を目的とせず不特定多数（市民）の利益に寄与する事業としては雑草の森運営事業があります。今後雑草の森は連盟にとってなくてはならないものであり、雑草の森の運営事業には大きな役割が課せられ、一般社会からの評価も高まることになるでしょう。

これから10年目を迎えるにあたり、利用者の皆様に安心して気軽にご利用いただけるよう運営委員一同創意工夫を重ね頑張ってまいります。連盟会員のさらなるご理解とご協力をお願い致します。



保育士会

私にとって大切なもの

きらら保育園 保育士 畑 友梨奈

私は、保育士になって今年で5年目になりました。私が保育士という仕事を続けてくることができたのには、理由がふたつあります。

1つ目は、先輩の先生方の優しさや支えです。間違っている時には厳しく、不安におしつぶされそうになっている時には、「大丈夫だよ。」と背中をおしてもらい、何かをやり遂げた後には、「頑張ったね。」と声をかけてもらいました。その優しさや支えがあってこそ今の私があるのかなと思います。

2つ目は、子どもたちの笑顔です。どんなに辛いことや疲れたことがあっても子どもたちの笑顔を見るとパワーをもらいます。笑顔で「先生！」と来てくれることが何よりも嬉しく思います。



私は今、年長クラスの担任をしています。3月には年長組の担任として初めて子どもたちを送りだします。「保育園、楽しかったよ。」と笑顔で卒園してくれることが私の目標です。その為にも、卒園までにもっといっぱい子どもたちの笑顔を引き出せるといいなと思います。そして、私自身も笑顔を忘れず、一日一日を大切に、「今日は楽しかった。」と子どもたちと笑って話せる日をもっと増やしていこうと思います。

私は、保育士という仕事が大好きです。これからも先輩の先生方に教えて頂いたことを忘れず、そして、子どもたちの笑顔を大切にしながら保育の仕事を頑張っていきたいと思っています。



調理師会

畑を通して再確認したこと

くすの実保育園 栄養士 尾方 香織

保育園給食に携わる様になって、2年半経ちました。給食の先生は普段どの様な仕事をするのか、献立作成も学校の課題以来で私に勤まるのか不安を抱えたまま面接に挑み、子どもが好きだから保育園で働きたいという思いで「頑張ります！」と意気込んで言ったのを今でも覚えています。

働き始めて1年目は、慌ただしくあっという間に毎日が過ぎていき、2年目は行事の流れを知り、3年目にしてやっと今までの経験や反省をふまえて仕事に取り組める様になりました。

近年「食育」など食に対する関心が高まってきており、当園でも親子クッキングや芋掘りなどを通して活動をしています。今年の芋掘りでは、土地を借りて畑を耕し畝を作る所から始ま



りました。芋の苗植えは4～5歳児の子どもたちも参加して、皆初めての事で苦戦しながらも目を輝かせて楽しく取り組んでいました。苗植えから芋掘りまでの間は定期的に草取りに行き、畑の様子を写真に撮って保護者にもお知らせしました。10月に入り芋掘りが近づくにつれ芋がきちんと育っているか心配もしましたが、当日天候にも恵まれ、大収穫となり園児たちも大喜びでした。穫れた芋で作ったおやつを出した時はお芋が苦手な子も「美味しかった」と言いに来てくれました。私自身も貴重な体験をして、一つ一つの食材にも生産者の思いが込められている事を改めて認識しました。給食を残さず食べてもらえる様に美味しく作り、食の大切さを伝えていきたいです。



園長会

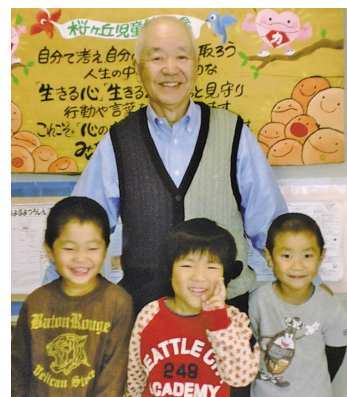
情緒ゆたかな子ども達を育てたい

植木桜ヶ丘保育園 園長 村本 尚 和

昨今の人のあり様が、さま変りしている感じが致します。高度に文化？が発展して経済がグローバル化して行く中で、私共は何か大切な事を置きざりにして来た様に感じています。近年某国との行き違いがエスカレートして報道を通じて広く早く知る事が出来ます。そして心いためるのでありますが、なぜこの様になって行くのか考えてみれば、一つに教育、その前の保育のあり方、然らばいかにせむ、と云う事です。

三年前に第七回全国藩校サミット熊本大会を開催、プロデュースを務めた折、テーマである今の子ども達に、藩校ありし頃のすぐれた教育の一つであった論語を学ぶ時間をプログラムして、人格形成の一つとする事が出来たと思っています。現在も、この論語塾は全国各地に広まっています。論語は、お隣の国より日本に伝わり、その文字漢字に、カタカナやひらがなを加えて日本のことばが出来て、日本人のゆたか

な情緒感を育てて来ました。心やさしく思いやりのある日本人が生まれて来たのです。が？今このやさしさを少しばかりわすれてきている様です。必ずしも経済ばかりが云々ではないと思います。急がずに保育教育の中に汲み込んで参りたく考えています。



桜ヶ丘保育園は先日、消防フェスタにおいて、うれしくも幼年消防隊に対して表彰を受けました。その折、伝統的な演舞をステージ上で披露しました。この事も情緒を育てて行く一つと思います。情緒ゆたかな日本人であれば必ずや世界の人々ともより良き世界をリード出来る、出番が必ず来ると思います。

12 月 の 予 定

会 合	日	時 間	会 場	研 修 内 容
調理師会南部 ブロック研修会	9(木)	14:00 ～17:00	南部市民 センター	「講演」冬期の食中毒対策 講師：熊本市保健所
看護師研修会	21(火)	14:00 ～17:00	熊本県民交流館パレア	9 F 第3会議室
理 事 会	14(火)	14:00 ～17:00	熊本市国際交流会館	3 F 国際会議室
園 長 会	24(金)	14:00 ～17:00	熊本市国際交流会館	5 F 大広間

ご結婚おめでとうございます

- 小 山 保 育 園 11月7日 保育士 井手 亜里紗 (旧姓 馬場)
- 小 山 保 育 園 11月20日 調理師 関屋 喜美子 (旧姓 柳田)
- さくらんぼ保育園 9月26日 保育士 建石 仁美 (旧姓 佐藤)
- さくらんぼ保育園 11月21日 保育士 白石 はる香 (旧姓 青木)

第36回体育祭

一生懸命なあなたが 主役
“力”みなぎる 熱き戦い!!

2010.11.27
於パークドーム



西部ブロック



南部ブロック



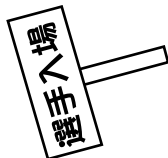
北部ブロック



中央ブロック



東部ブロック



優勝 北部ブロック

